

今日から始めようSDGs



皆さんはこのロゴマークご存じですか？
虹のようなこのマークはSDGsのマークです。
SDGsは「Sustainable Development Goals」の略で、日本語では「持続可能な開発目標」と表されます。
SDGsは2015年9月に国連が決めた世界を変えるための目標です。「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「気候変動に具体的な対策を」など17のゴール（目標）があり、その下に、169のターゲット（具体的な目標）がまとめられています。
ロゴマークもよく見ると17色あり、ゴール・ターゲットは相互につながって関係し、一つの目標への取り組みが他の目標へも影響しているということで、丸い輪で表されています。
SDGsは2030年までの達成を目指し、「誰一人取り残さない」ことが宣言されています。行政だけでなく、市民や企業、さまざまな関わりで促進していくことが、持続可能な世界を創る鍵となります。

問 政策推進課（内線517）

SDGsという一見壮大な目標に、一個人では何からすれば良いのか、どうやって関わるべきなのか分からない、と高いハードルを感じてしまうかもしれません。しかし、日常生活で少し意識して行動することがSDGsにつながっています。今回紹介した取り組みは、節電・節水や地産地消、マイボトルの持参など、どれも身近で簡単なものばかりです。でも、「知っている」と「知らない」では全然違います。ぜひ家族や友人とシェアして一緒に行動していきましょう。未来のためにできることを、今日から始めましょう。

国連広報センターでは、“ナマケモノにもできる”SDGsの取り組みを、4つのレベルで紹介しています。

- レベル1 ソファに寝たままでできること
- レベル2 家にいてもできること
- レベル3 家の外でできること
- レベル4 職場でできること



身近にできる取り組みと一緒にSDGsの17のゴールを見てみよう

食品ロスを減らす=SDGs 冷蔵庫の中をチェック！



特売で買った食材が食べられず冷蔵庫に眠ったまま消費期限を迎え、廃棄されていませんか？家庭で出る食品ロスを減らすことはSDGsの取り組みの一つです。なるべく捨てずに使い切る習慣を身に付けましょう。
他にも「キャベツの芯やブロッコリーの茎を料理に取り入れる」「すぐ食べないお肉は冷凍する」など、自分のライフスタイルに合った工夫を見つけてみましょう。
食品ロスを減らすことは、資源や生態系を守るだけでなく、家計の改善にもつながります。



土岐市で商品開発された「美濃焼ストロー」。マイストローとして繰り返し使用することで、SDGsにつながります。



マイ〇〇=SDGs
「マイ〇〇」いくつ持ってる？

陸上で作られたプラスチックが河川に流れ、分解されないことで海に溜まり、海洋汚染につながります。レジ袋の有料化、プラスチックストローやカップの提供を廃止する飲食店が増えるなど、脱プラスチックの習慣はここ数年で身近になってきました。日々の生活で実践している人も多いマイバッグやマイボトルの持参もSDGsの取り組みになります。



地産地消=SDGs 今日のお野菜はどこのもの？



地域で生産したものをその地域で消費する地産地消は、遠い地域で生産されたものを輸送するエネルギーの削減になるなどSDGsにつながっています。
スーパーの野菜売り場には「地産地消コーナー」が設けられていることがあります。特売の野菜に目が行きがちですが、地域で生産されたものを選ぶことは、地域の生産者の保護につながるだけでなく、SDGsの立派な取り組みの一つです。

お互いを認め合う=SDGs みんな違って、みんないい。



SDGsには、「ジェンダー平等を実現しよう」「人や国の不平等をなくそう」という目標も掲げられています。
日本では宗教や人種の違いを感じることは少ないかもしれませんが、世界的には大きな課題となっています。
この課題に対して個人としてできることは、お互いの違いを認め協力することです。例えば、「見た目で人を判断しない」「家事や子育ての分担を見直す」「障がいのある人と交流を持つ」「ボランティアに参加する」など、機会を見つけて家族で話し合うのもお勧めです。親子で取り組みれば、よい教育にもなります。

節電・節水=SDGs 何気ない行動に無駄があるかも。



節電や節水は、節約だけでなく、限りある資源を有効的に利用することにもつながります。
「電気を付けっぱなしにしない」「シャワーを出しっぱなしにしない」「エアコンの設定温度を見直す」「冷蔵庫の開け閉めの回数を減らす」など、意識するだけでも無駄を減らすことができ、SDGsにつながります。
電源タップを個別にスイッチが付いたものに変更したり、シャワーヘッドや蛇口を節水タイプのものに変更したりするなど節電や節水グッズを使うのも効果的です。

陶磁器製造が盛んな土岐市。
1300℃の高温で焼成される陶磁器ですが、SDGs・脱炭素の取り組みとして、その焼成工程での燃料を削減する活動に取り組んでいます。